

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート<報告>

学校名 (三重県立白山高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○ 地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する取組を行う〔スクール・ミッション〕	
(2)	ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	「夢の実現へ ～あなたの好きを見つけよう～」	
		育みたい児童生徒像	○ 社会生活を営むうえで必要な基礎学力と規範意識を身につけている。 ○ 地域行事やボランティア活動に進んで取り組み、地域から信頼され、地域の活性化に貢献する精神を身につけている。
		教育課程の編成及び実施	○ 小規模校のメリットを生かしたていねいな学習や、地域とのつながりを大切に活動を中心に、きめ細かい指導とキャリア教育を実践します。 ○ 多くの科目で少人数制や習熟度別などの講座編成を行います。 ○ 地域を実習や体験学習の場にした科目や、コミュニケーション能力を重視した科目など、総合的な「人間力」を高める科目群があります。
	入学受け入れに関する方針	○ 本校の学校活動や学習活動、体験学習等の地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある生徒を募集します。 ○ 部活動等において優れた実績や能力があり、本校の部活動で継続して活動する意思のある生徒を募集します。 ○ 生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組める生徒を募集します。	
	ありたい教職員像	○ 生徒の多様なニーズにきめ細かく対応し、主体的に提案し実践できる教職員集団 ○ 地域の声を生かした学校づくりに向けて、主体的、積極的に地域と触れ合う教職員	

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 学校生活アンケートでは、9割を超える生徒が学校生活に満足しており、学び直しの授業による基礎学力の向上や資格・免許の取得支援に期待する声がある。</p> <p>〈保護者〉 保護者アンケートでは、保護者は生徒の学力向上や豊かな心の教育に期待しており、しつけや生活習慣の徹底も望んでいる。</p> <p>〈地域〉 学校運営協議会委員へのアンケートでは、地域は生活指導に力を入れるとともに進学・就職等の進路指導の充実、社会性の育成を望んでいる。</p>	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>〈家庭〉 学校生活、進路、学習活動に関する情報の提供</p> <p>〈中学校〉 多様な生徒の受入れ、入学選抜に関する情報提供、就職指導・就職保障</p> <p>〈地域社会〉 生徒の社会性の育成や進学・就職等の進路指導。</p>	<p>〈家庭〉 基本的な生活習慣の確立に向けた指導や、学校の指導方針への理解と協力、あいさつや礼儀・規律などルールやマナーについての指導</p> <p>〈中学校〉 基本的な生活習慣の確立、基礎的な学力の定着、あいさつや礼儀・規律などルールやマナーについての指導</p> <p>〈地域社会〉 インターンシップへの理解・協力・受入や本校との連携強化、学校教育活動への参画・支援</p>

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○自尊感情やコミュニケーション力を高める取組を推進する。</p> <p>○キャリア教育の充実と部活動活性化の両立を図るため、長期インターンシップにおける学校周辺の受入事業所の開拓が必要である。</p> <p>○探究教育活動として地域プロデュースに取り組み生徒の課題解決の力を高める。</p> <p>○学校事務の精選や意識改革を行い、職場全体で働き方について検討する。</p> <p>○地域と共に学校の存在意義について考え、その教育使命を果たす。</p> <p>○今年度まで地域の方と学校の教育活動について「学校運営協議会」と「学校活性化協議会」の2つの会議で考えてきたが、次年度より「学校運営協議会」に一本化する。</p>
(4) 現状と課題	教育活動	<p>人口減少に伴い、地元からの入学者が減少し、遠方から通学する生徒が増加する傾向にある。また、義務教育段階での学習内容が定着していない生徒や特別な支援の必要な生徒が在籍している。基礎学力とともにコミュニケーション能力や規範意識を育む必要がある。</p> <p>生徒には自尊感情を育むために、課題克服の達成感を伴う教育活動が求められている。</p>
	学校運営等	<p>小規模校であるため教職員数が少ないことから、生徒に豊かな学びを保障するために外部教育力を活用する必要がある。</p> <p>様々な課題のある家庭が少なくないことから、学校との連携・協力の体制づくりを進める必要がある。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○ 確かな学力と規範意識の育成</p> <p>学習指導・生活指導・進路指導の充実を図り、個々の生徒の状況に応じて、社会生活を営む上で必要な学力、生命を大切にす心や思いやりの心などの倫理観、規範意識、社会性を育成するとともに、地域との交流を通じて自尊感情やコミュニケーション力を育む。</p>
学校運営等	<p>○ 地域とともにある学校づくりの推進</p> <p>地域連携に基づいたこれまでのキャリア教育、学校運営協議会を設置する学校の実績を踏まえ、生徒・教職員がより主体的、積極的に地域と触れ合うことにより、地域からの声を生かした学校づくりに努める。</p> <p>○ 生徒のための教職員組織づくりの推進</p> <p>生徒の多様なニーズにきめ細かく対応し、自律した生徒を育てる学びが実践できる教職員の組織づくりを推進するとともに、校内研修等を活用した人材育成や業務改善に取り組む。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
確かな学力と規範意識の育成	<p>(1) 基礎学力の定着・向上を図るために、「ユニバーサルデザインの授業」を取り入れて授業を実施する。〔誰一人取り残さない教育の推進〕</p> <p>[活動指標:「ユニバーサルデザインの授業」の啓発と教員アンケートの実施]</p> <p>[成果指標:「ユニバーサルデザインの授業」の認知度 90%、基礎力診断テストの学習到達度ゾーンを1つ以上向上させる生徒の割合 30%]</p>	<p>「ユニバーサルデザインの授業」の啓発</p> <p>1学期1回(第2回職会)</p> <p>3学期1回(アンケート予定)</p> <p>基礎力診断テストGTZ向上</p> <p>1年生:25%</p> <p>2年生:35%</p>	

	<p>(2) 卒業生を招いた講演会を実施したり、実際の働く現場や上級学校を訪問したりする機会を設けることで、働くことや上級学校で学ぶことを具体的に想像し、みずからの主体的な進路選択と高校での学習の充実に役立てることができるよう支援する。〔キャリア教育の推進〕</p> <p>[活動指標：実施回数 年間2回以上]</p> <p>[成果指標：事後アンケートによる肯定的な評価 80%以上]</p> <p>(3) 生徒の人権意識の向上に努める。〔よりよく生きようとする態度の育成〕</p> <p>[活動指標：人権LHRの実施回数 各学年各学期 1回以上・年間4回以上、人権講演会 年間2回以上]</p> <p>[成果指標：人権意識が向上したと実感した生徒の割合 70%以上]</p> <p>(4) 生徒の規範意識・社会性を育成するために、毎朝の登校指導、計画をたて下校指導（JR乗車指導）・身だしなみの指導・あいさつ運動に取り組む</p> <p>[活動指標：登校指導実施率 100% 下校指導（JR乗車指導）実施率 100% あいさつ運動実施率 100%]</p> <p>[成果指標：遅刻指導件数 5%減]</p> <p>(5) 自他を大切にし、命を大切にする心を育む教育活動を充実させる。〔よりよく生きようとする態度の育成〕</p> <p>[活動指標：生徒向け講演会等を年3回以上実施、いじめ防止アンケートの学期1回実施]</p> <p>[成果指標：自他や命を大切にする心が向上した生徒の割合 90%以上]</p>	<p>10月末に「卒業生と語る会」を実施。卒業生8名（進学3，就職5）を招いた。12月に企業・上級学校を訪問した。（企業6社、上級学校4校）事後アンケートでは100%が肯定的</p> <p>[活動指標：人権LHR実施回数 1年2回 2年1回 3年2回 人権講演会3回]</p> <p>[活動指標：人権意識が向上したと実感した生徒の割合 3年80%以上 1，2年2月にアンケート実施予定]</p> <p>登校指導実施率100% 下校指導（JR添乗導）実施率100%（PTA下校指導も実施） あいさつ運動実施率100% 身だしなみ指導 実施 遅刻指導件数前年度比9%減</p> <p>（活動指標：保健講話3回実施） 〔自他や命を大切にする心が向上した生徒の割合100%〕</p>	
--	--	---	--

改善課題

- 日々の授業への取り組みにより生徒が落ち着いて学習に向かうことができるようになっている。今後も取り組みの継続と成果の検証を続ける。
- 人権学習における学年との連携の強化・職員研修の充実
- 全校集会と同等のマナー（乗車マナー・身だしなみなど）の定着に向けた意識向上の機会の模索
- 生徒が安心できる感染症対策を心がけた行事等を実施する。

(2) 学校運営等

<p>地域とともにある学校づくりの推進</p>	<p>(1) 3年生の長期インターンシップを通じて、働く意義、社会人としての態度、コミュニケーション力を高める。〔協働の学びの機会の確保〕 [活動指標：事業所訪問 2 回以上] [成果指標：事業所アンケートで良好 80%以上]</p> <p>(2) 地域連携にもとづいたキャリア教育推進の一環として、地域に関わる事業所や関係機関と連携し、キャリア教育を推進し、進路指導の充実・改善に取り組む。〔地域に根ざした教育の推進〕 [活動指標：外部人材の招聘または地域の事業所や関係機関との連携による教育活動 年間 8 件] [成果指標：学校斡旋による就職内定率 95%以上]</p> <p>(3) 課題を抱えた生徒一人ひとりの就職（進学）に対応するため、きめ細やかな生徒保護者面談を行い、進路実現につなげる。〔学びに向かう力を育む教育の推進〕 [活動指標：生徒との面談 10 回以上、保護者との面談 2 回以上] [成果指標：生徒の進路希望実現 100%]</p> <p>(4) 地域と連携した校外活動の充実 [活動指標：例年お世話になっている地域の事業所との連携を保つための連絡件数 20 事業所以上] [成果指標：地域の事業所と実際に連携できた件数 10 件以上]</p> <p>(5) ICT 推進委員会の充実、GIGA スクールサポーターと連携し、ICT 分野における校内研修の実施〔ICT の活用による学びの推進〕 [活動指標：ICT 分野における校内研修の実施 3 回以上] [成果指標：校内研修における職員満足度 80%以上]</p>	<p>1 月末 事業所訪問 1 学期 1 回 (4 月中旬) 3 学期 1 回 (予定)</p> <p>○該当の教育活動は、1 月末までに 7 件。3 月に 1 件を予定。学校斡旋による就職内定者 36 名。内定率 100%</p> <p>●1 学年 個人面談 10 回以上。必要に応じて面談を行った。保護者面談 2 回</p> <p>●2 学年 個人面談 10 回以上。必要に応じて面談を行った。</p> <p>●3 学年 個人面談 4 回以上、面接指導 10 回以上実施済み 進路決定 内定率 100%</p> <p>人権学習のために地域の方とつた連絡件数 2 件 2 年総合的な探究の時間における連携件数 15 件</p> <p>●総務部 津市観光協会、松菱、みえフレンズビデオクラブ、家城神社など計 4 件</p> <p>校内 ICT 研修 3 回実施 ギガスクールサポーター、職員による研修</p> <p>満足度 確認中</p>	
-------------------------	--	---	--

<p>生徒のための 教職員組織づ くりの推進</p>	<p>(6) 地域美化のために、毎朝生徒会役員及び生徒会顧問で地域のゴミ拾いを実施する。 [活動指標：ゴミ拾い実施率 100%] [成果指標：ゴミ拾い実施率 100%]</p> <p>(7) 情報提供による信頼の構築 [成果指標：地域や報道機関への資料提供年 5 回以上]</p> <p>(1) 全教職員による進路指導がよりきめ細かく行えるよう情報提供(就職・進学)に努める。 [活動指標：7月以降、教員への求人状況、応募状況、内定状況、進学状況を毎月 1 回以上発信する] [成果指標：希望進路実現率 95%以上]</p> <p>(2) 教職員の人材育成を図るため、コンプライアンスミーティングを含めた校内研修の実施に取り組む。 [活動指標：校内研修の実施回数 年間 5 回以上] [成果指標：校内研修における職員満足度 80%以上]</p> <p>(3) 困難な状況にある生徒を支援するため、情報共有を行い、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、他の専門機関等と連携し、チーム学校として組織的な対応や支援を行う。〔誰一人取り残さない教育の推進〕 [活動指標：保護者、担任、各分掌、部活動顧問等と情報を共有しながら対応や支援を行い、必要に応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、発達障がい支援員等の活用を図る。] [成果指標：特別支援教育推進委員会、ケース会議、コンサルテーション等を、年間あわせて 15 回以上実施]</p>	<p>ごみ拾い実施済 100%</p> <p>●総務部 12回実施</p> <p>●進路指導部 求人報告 毎月実施</p> <p>進路実現率 100% 進学 31 就職 43 計 74</p> <p>●総務部 2回実施 ①1 学期 宮崎県飯南高校梅北先生による講演会 探究について ②2 学期 生徒人権講演会に合わせて実施 コンプライアンス・ミーティング 3 回実施。 職員満足度：100% 問い：今後の教育活動に生かすことができるか 大いに役立つ 38.5% どちらかといえば役立つ 61.5%</p> <p>[活動指標：SC、SSW と連携し、組織的な支援を実施] [成果指標：特別支援教育推進委員会 3 回、ケース会議 1 回、SC、SSW、発達障がい支援員とのコンサルテーション 11 回、SC、SSW の成績会議参加 3 回、SC 講話 4 回(オンラインを含む)、SC 通信発行 1 回、校内研修 2 回計 25 回実施]</p>	
------------------------------------	--	---	--

	<p>(4) ICT 等のあらゆる手段を活用し、スクールカウンセラーと生徒や保護者とのつながりの継続を図る。 [活動指標：保護者へのカウンセリング日程の連絡を年3回以上実施] [成果指標：保護者のカウンセリング利用、年5件以上]</p> <p>(5) 地域から信頼される学校づくりを目指す。 [成果指標：「学校信頼向上委員会」を年3回開催]</p> <p>(6) 学校における働き方の改革を図るため、学校安全衛生委員会で進捗を管理する(総勤務時間縮減の推進) [活動指標：① 定時退校日の設定(月1回) ② 部活動休養日の設定(週1回) ③ 会議スマートルールの適用 ④ 学校閉校日を設ける ⑤ SSS を活用した教職員の負担軽減] [成果指標：①定時退校日に定時退校できた教職員の割合 85%以上 ②部活動休養日に休養できた部活動の割合 85%以上 ③60分以内に終了できた会議の割合 70%以上 ④学校閉校日を1日以上設ける ⑤1人あたりの月平均時間外労働時間 前年度比10%減 ⑥1人あたりの年間休暇取得日数 令和3年度比1日増 ⑦年360時間・月45時間を越える時間外労働者 0%]</p>	<p>[活動指標：保護者へのカウンセリング日程3回実施][成果指標：保護者のカウンセリング利用1件] [保護者のカウンセリング利用1件](12月現在)</p> <p>信頼向上委員会4回実施</p> <p>①退校できた教員数 324/374 (4-2月) 86.6% ②実施 ③18/30 (4-9月) 60% ④8月15日 ⑤19.5時間 (R3 6.5時間) ⑥6.8日 (4-10月) (R3 14.1日) ⑦月45時間越 4月10人 5月8人 6月8 7月7 8月1 9月6 10月8 11月3 12月1 1月0</p>	
--	--	--	--

改善課題改善課題

- インターンシップ等交流活動の受け入れの継続と近隣の新規事業所開拓の工夫。
- 情報発信に関して、どの時期にどのようなやり方でどのような情報が共有されていれば、先生方にとってより有意義なのか、さらに考えたい。
- 必要とされる校内研修を行うことで、参加率や満足度の向上を期待したい。
- ケース会議等における課題解決の定義が難しいため、成果指標を再考する必要がある。
- 過重労働時間を減少させるため、更なる働き方改革を目指していきたい。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none">○自尊感情やコミュニケーション力を高める取組を推進する。○キャリア教育の充実と部活動活性化の両立を図るため、長期インターンシップにおける学校周辺の受入事業所の開拓が必要である。○探究教育活動として地域プロデュースに取り組み生徒の課題解決の力を高める。○学校事務の精選や意識改革を行い、職場全体で働き方について検討する。○地域と共に学校の存在意義について考えて、その教育使命を果たす。○地域の方と学校の教育活動について「学校運営協議会」を今後も継続する。
---------------------	---

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none">○授業改善やユニバーサルデザインの授業づくりを進め、卒業までに生徒が社会人として必要な資質・能力を身に付けられるように基礎学力の伸長及び定着を目指す。○部活動や地域ボランティアを活性化して、基本的な生活習慣や粘り強く取り組む態度を確立させて、生徒の規範意識や社会性を育成する。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">○生徒のコミュニケーション能力や規範意識を育むために、地域プロデュース活動や長期インターンシップなどを充実させて、積極的に地域の教育力を活用するようにする。○地域に対して、積極的に生徒の活動や成果を情報発信するとともに、地域に貢献する生徒の育成を推進し、生徒の自尊感情や自己有用感を高める。